

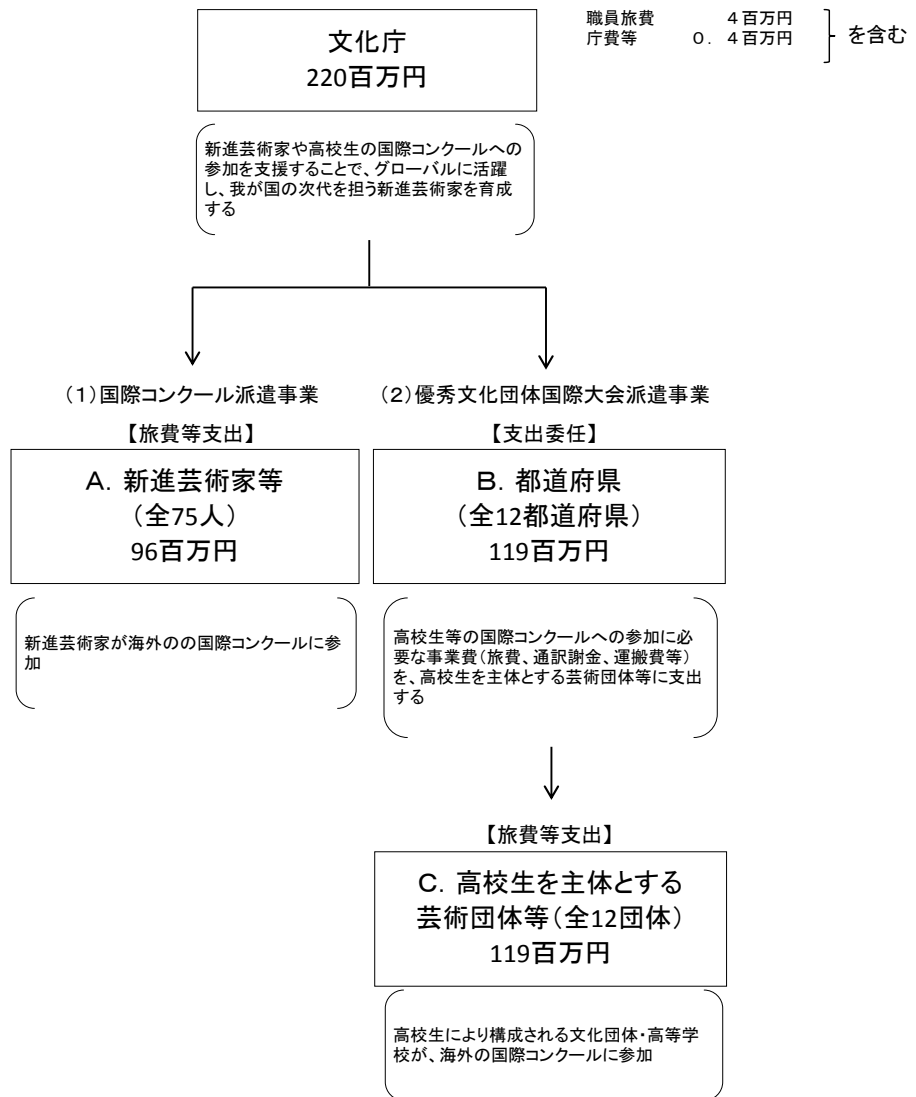
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	若手芸術家等グローバル人材育成事業	<b>担当部局庁</b>	文化庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度	<b>担当課室</b>	芸術文化課		芸術文化課長 山崎秀保		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	XⅢ-1 芸術文化の振興				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	文化芸術振興基本法5条、8条、15条	<b>関係する計画、通知等</b>	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際社会において我が国が一層の存在感を示し、日本と日本人が更に名誉ある地位を占めていく上で、芸術分野において国際的に活躍できる人材を輩出していくことは必要不可欠である。このため、新進芸術家が海外に眼を向け、国際コンクール等に挑戦して芸術水準の向上に努めることを促進するとともに、芸術分野で優れた才能を有する高校生等が海外の国際コンクールに参加して国際的な視野を身に付けるとともに日本文化を再認識し、自らの芸術の向上に取り組むことを促進し、国際的に活躍する人材を育成する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	(1)国際コンクール派遣事業 新進芸術家の国際コンクールへの参加を支援し、我が国の次代を担う国際社会でグローバルに活躍できる芸術家を育成する。 (2)優秀文化団体国際大会派遣事業 高校生の国際コンクールへの参加を支援し、将来、国際文化交流の担い手となる新進芸術家を育成する。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算					220
		補正予算					
		繰越し等					
		計					220
		執行額					
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	(1)国際コンクール派遣事業 ファイナル出場者の数	成果実績	人				15
		達成度	%				
	(2)優秀文化団体国際大会派遣事業 派遣者の入賞数	成果実績	件				12
		達成度	%				
	<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度
(1)国際コンクール派遣事業 事業実施件数		活動実績(当初見込み)					※24年度の活動見込である ( 75 )
		活動実績(当初見込み)					
(2)優秀文化団体国際大会派遣事業 年度ごとの派遣団体数		活動実績(当初見込み)					※24年度の活動見込である ( 12 )
	活動実績(当初見込み)						
<b>単位当たりコスト</b>	(1)国際コンクール派遣事業 1.3(百万円/派遣者1名あたり) (2)優秀文化団体国際大会派遣事業 10(百万円/団体数)		算出根拠	(1)国際コンクール派遣事業 要求額101百万円/派遣者数75人 (2)優秀文化団体国際大会派遣事業 要求額119百万円/派遣団体数12団体			
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費		4	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない			
	芸術家外国研修旅費		96				
	庁費等		0.4				
	芸術祭等運営費		119				
計		220					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>我が国の新進芸術家の海外への挑戦は、東アジアの諸国と比べても多いとは言えず、グローバルに活躍する人材を育てることは急務の課題である。海外での国際コンクールへの参加を国が後押しすることにより、国際舞台で活躍する芸術家が多数生まれることは我が国が国際的にも注目されることにもなるとともに、我が国の芸術文化水準の向上に大いに効果的である。国際コンクール等で入賞し注目されることは、新進芸術家が今後グローバルに活躍する環境の構築に有効な手法である。従って、創造性あふれる若手人材の継続的な育成の観点から、国が戦略的に実施する必要がある。</p> <p>また、優秀文化団体国際大会派遣事業において、将来の国際文化交流の担い手となりうる高校生等が、海外で行われる国際コンクールに参加するための支援を行うことは、早いうちに国際的な視野を身につけ、また、日本文化を再認識するなど、自らの芸術文化活動のレベルアップを図るための有効な手法である。広く高校生等の芸術文化活動に対し支援をしていくことは、国民の文化環境の整備に資するものである。また、将来の国際文化交流の担い手を育成することは、国としての責務である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、事業の成果目標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上に置いて想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 新進芸術家等(全75人)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	@1.28百万円×75人	96			
計		96	計		0
B. 都道府県(全12都道府県)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	@9.92百万円×12都道府県	119			
計		119	計		0
C. 高校生を主体とする芸術団体等(全12団体)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	@9.37百万円×12団体(20人)	112			
通訳謝金	@0.4百万円×12団体	5			
運搬費等	@0.1×12団体	1			
計		119	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、  
 積み上げと合計は一致しない